

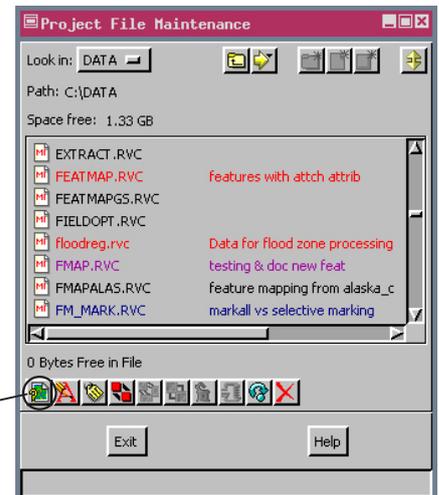
プロジェクトファイルのバリデート（有効化、正当化）

ご存知でしたか?... プロジェクトファイルメンテナンスを使って RVC ファイルの有効性とコンフリクトをチェックすることができます。

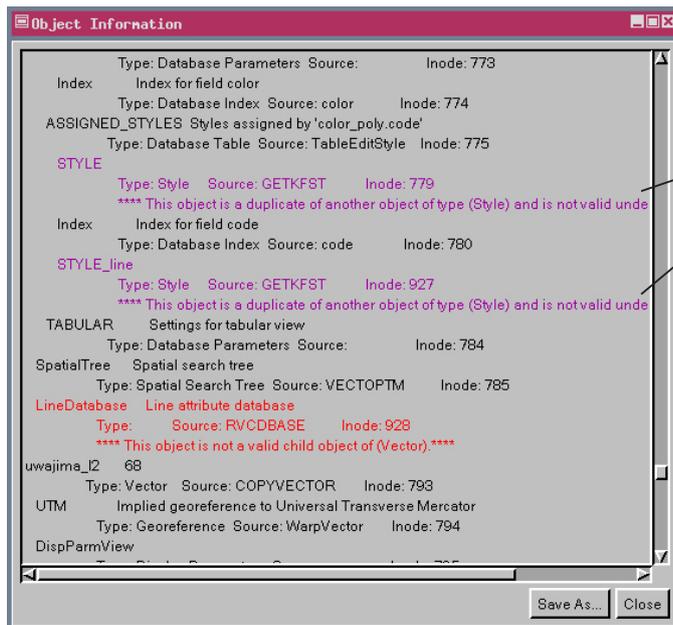
プロジェクトファイルの有効化をすることで...

- コンフリクトや無効なサブオブジェクトを持ったプロジェクトファイルの名前が色分け表示されます。
- 赤：無効なオブジェクト（ラスタの下の暗黙のジオリファレンス）
- 紫：コンフリクトしているサブオブジェクト（複数あるスタイル、アフィンジオリファレンスサブオブジェクト）
- 青：場所が不明なファイルやオブジェクトにリンクしたオブジェクト（スタイルオブジェクト、*.jp2 ファイル）

無効またはコンフリクトしているオブジェクトは、以前のあまりプロジェクトファイルの規則が厳しくなかった頃のバージョンによって作成された可能性があります。リンク先のファイルやオブジェクトを移動したり名前の変更、削除をして、うっかりリンク先のファイルをなくすことがあります。



【情報を見る】
ボタン



ラインのスタイル割り当てテーブルの下にスタイルサブオブジェクトが2つありますが、1つしか存在することが許されません。残しておきたいものを1つ選び、プロジェクトファイルメンテナンスを使って、他のものを削除して下さい。

無効またはコンフリクト状態にあるサブオブジェクト（1つしか許されないのに複数存在している）は、[有効化エラーがあればプロジェクトファイルを強調表示する (Highlight Project File if validation errors exist)] トグルがオンかオフかによって（サポート>セットアップ>設定>プロジェクトファイル）、<オブジェクト情報 (Object Information)> ウィンドウで色分け表示されます。

プロジェクトファイルの内容を有効化する方法

- ツール>プロジェクトファイルの管理を選択し、[Info (情報を見る)] ボタンをクリックします。
- 名前が色分け表示されたプロジェクトファイルを探し、選択します。
- オブジェクト情報をスクロールし、色分けされた問題点を見つけます。
- 無効なオブジェクトを削除し、プロジェクトファイルメンテナンスによってコンフリクトを解決します。
- 失ったリンク先のファイルやオブジェクトを見つけ、再びリンクします。

さらに知りたいことがあれば...



以下の冊子をご覧ください：
プロジェクトファイルの理解とメンテナンス
(Understanding and Maintaining Project Files)

